

普及活動の成果

様式6(左)

課題名 : 地域資源を生かす魅力ある経営体支援
活動対象 : 全域

振興局名 : 県北振興局
実施期間 : 平成29年4月~平成30年3月

【対象の概要】

直売所、6次産業化志向農業者、農産加工品製造者

【課題設定の背景】

- 1 県北管内での直売所全体の売上は横ばい傾向にあるが、食品スーパーや他の直売所との競争で一部直売所における売上は減少傾向にある。
- 2 新たに6次産業化に取り組む意向のある農業者からは年間数件の相談を受けており、具体的な相談については、市町、6次産業化サポートセンター等関係機関と連携して対応している。農産加工品認証制度「長崎四季畑」については管内で11商品が認証されているが、制度の周知が十分ではない。

【活動目標】

- 1 直売所の売上は品揃え(多品目、出荷量)や来客数及び客単価等に比例して増減している。各項目について具体的な問題点の理解、課題の解決を促し、直売所のPR活動や県立大との産官学連携により大学側の新たな発想を活用することで売上向上を目指す。
- 2 関係機関と連携し、6次産業化に取り組む農業者への支援を充実する。

【関係機関との連携(活動体制・役割分担)】

各関係機関より対象組織の活動に対する支援、助言実施。

【活動経過】

(1) ア 組織活動支援

直売所ネットワーク役員会及び総会において、直売所の売上向上のためネットワークの横のつながりを活かしたPR活動を行う必要があるとの意識統一がなされた。その結果、ネットワーク内横断型スタンプラリー(賞品あり、アンケート付き)を実施し、賞品への応募が97名からあった。

イ 産官学連携支援

直売所ネットワーク役員会にて県立大から平成30年度授業カリキュラムについて検討した。

ウ 地産地消推進支援

直売所ネットワーク9直売所の商品リスト作成の支援を行った。完成した商品リストを用いて県北のこだわりの店15店舗にアンケートを実施し、その結果をもとに県北マッチング会を開催した。

エ 地域イベント連携

JA側と入念に協議した本年度の活動方針をもとに地産地消祭を実施した。

(2) ア 地域交流会の開催

6次産業化にかかる関係機関担当者会、地域交流会を2回開催した。

イ 相談対応

6次産業化にかかる事業について、10件の個別相談に対応した。

ウ 四季畑推進

長崎四季畑については、更新および新規申請の計画作成支援を行った。長崎四季畑フェアの開催を支援した。

【普及活動の成果】

(1) ア 組織活動支援

直売所ネットワーク内横断型スタンプラリーを実施したことで直売所ネットワークの知名度向上及び売上増の支援を行うことができた。また、アンケート調査により、直売所利用者の傾向や直売所に望むこと等消費者ニーズが把握でき、各直売所の運営改善が図られた。

イ 産官学連携支援

大学が実施する体験実習等を管内直売所で受入れるとともに、大学と連携して直売所の課題解決に向

けた協議を行っていくことで合意した。

ウ 地産地消推進支援

県北マッチング会に3直売所および2こだわりの店が参加した。直売所PR、こだわりの店のニーズを把握することができ、さらに1組の取引が成立した。

エ 地域イベント連携

新米試食については、2日間で600人弱の参加者に恵まれた。加工協については、3業者が出店し、加工品を販売することで原料となる県北農産物(いちご、茶)をPRできた。

(2) ア 地域交流会の開催

6次産業化にかかる事業推進について担当者会を通じて事業への理解を深めた。地域交流会では、食品表示制度や商品の売り方等について研修を行い理解を深めた。

イ 相談対応

新たに6次産業化に取り組む意向のある農業者、事業者の相談に対応し、そのうち4件に対し6回プランナーを派遣し事業者の課題解決につなげた。

ウ 四季畑推進

長崎四季畑については、新規2商品(2件)、更新2商品(1件)の計4商品(3件)が認証された。

【対象の声】

1 魅力ある直売所支援

普及活動については日頃より支援頂き助かっている。今後、直売所が末永く盛り上がるように、新しい取組には失敗を恐れずチャレンジしたい。

2 6次産業化を志向する者への支援

支援してもらっていることについてはありがたい。新たな加工品の開発、販売先の開拓もしていきたい。

【今後の課題】

(1) ア 組織活動支援

スタンプラリーについては、継続的に実施することで各直売所の売上増加が期待できるとの意見が役員会で出されたため、賞品券の利用状況等も踏まえスタンプラリーの効果を検証し、次年度以降の活動を検討する。

イ 産官学連携支援

学生の体験実習の受入れについて調整を行い、調査研究段階では直売所活性化に結びつく成果となるよう誘導する。

ウ 地産地消推進支援

県北マッチング会については、実需者情報を15のこだわりの店しか持っていなかったため少数の参加となったため、今後は実需者の拡大など開催方法を検討する必要がある。

エ 地域イベント連携

年々来場者が増加するなか、整理した次年度対策を中心に集客力及び地産地消啓発効果が高い取り組み内容を検討する。

(2) ア 地域交流会の開催

6次産業化に取り組む商品開発、販売拡大意向のある農業者等を対象に、関係企業との連携も行いながら、交流会を開催する。

イ 相談対応

6次産業化に取り組む意向のある農業者の相談に対応し、必要に応じて専門家派遣をすすめる。

ウ 四季畑推進

県産農産物を活用する食品企業に対し、長崎四季畑認証制度の周知をはかる。

【成果の活用及び普及活動上の留意点】

1. 直売所の現状、要望に似合う支援や事業を引続き支援していく必要がある。
2. 地域の農産物を活用した商品開発が産地のPR、農業者の所得向上につながるような取組を支援する。

【発表・参考資料】

なし。